第 2018-46 号

恵みと真理のニュース

2018 年 11 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

神様が妻の夢が現実になるようにしてくださって、妻の病気を治療してくださいました

私は１男３女の中で長男で生まれ家庭の経済状況によって７歳から３年間親戚の家を転々して１０歳になってやっと親の懐に戻ってきました。小学校に通うときから新聞配達などの仕事をしながら親を手伝いました。朝４時に起きて朝刊新聞を配達してから学校に行ったら眠くて勉強はまともにできませんでした。体が疲れる中でも親をついて主日には教会に行って神様に礼拝を捧げました。時間が経って家長ような役割を果たしながら信仰生活をおろそかになりました。
目が悪くて大学病院に行って診察を受けましたが、軍隊も行けないほどの悪い視力でした。大きく落胆して挫折感を感じましたが、心をやり直して家族の生計のために働きました。
その時、隣の家に住む兄の助けで教会に再び出席するようになりました。いくら忙しくても主日礼拝、平日礼拝、青年礼拝に熱心に参席して説教も聞き頑張って祈る生活もしました。朝、祈り会に参席するため教会で寝る時も多かったです。早天祈り会に参席して運動をした後、会社に出勤したらすっかりした気持ちで一日が楽しかったです。退勤してから教会の聖書学校にも登録して聖書の教理を習らいました。青年部を仕えて主日学校の教師と聖歌隊員で奉仕しました。
私が幼い時から、母は健康ではなかったです。信仰も弱かった母のため恵と真理教会に通う案手執事と勧士の二人が雨が降っても雪が降っても毎日のように家に来られて母の病気が治るように祈ってくださいました。彼らの愛と祈りおかげで母は救いの確信をもって天国に召されました。その当時の父は恵と真理教会に通って私は村の小さい教会で青年会長を担っていました。私が結婚して、妻は父親をついて恵みと真理教会に通いました。妻は教会で聖書学校と区域長大学など平信徒の教育課程を受講しながら信仰が日々成長しました。
どころが、私たちが分家をして妻と私が仕える教会が違って葛藤するようになりました。妻は恵と真理教会に通うのを主張して、私は自分が行っている教会に妻も一緒に行くのを願いました。妻が意志を曲げなかったので私はデモをするように主日も仕事を作って教会に行かなくて会社に出勤しました。すると、妻は決断を下って譲りました。そうするうちに、妻が伝道した隣の家のおばさんが恵と真理教会に通うのを願ってその時から私も恵みと真理教会に行くようになりました。妻は女子奉仕連合会で礼拝の案内する奉仕をして私は男性奉仕連合会の伝道部で奉仕しました。
ある日、妻が見た夢を話をしてくれました。私たちが３階の建物の主人になり建物１階は商店で使い２階は私たちが住んで、３階は妹弟が住むそんな夢を見ったと言いました。その夢が現実になるのを願い神様に祈るとしました。私の考えでは家庭の状況ではありえない事でした。その当時は大変に職場生活をしていて家も家賃を払っていました。
幼い子をおんぶして手には福音のニュースをもって伝道に行ってた妻が貸し切り部屋を探したと言って連れられて行ってみたらマンションの地下でした。家の主人の配慮で普通より安く借りて３年くらいその家で住みました。もっと良い所に引っ越しする計画をしているとき義妹が結婚相手を連れて来て紹介してくれました。イエス様を信じる青年だったので私たちの夫婦は賛成しました。二人は教会で当会長の牧師の司式者の祝辞を受けて結婚式を行い、結婚式をして今は共に聖歌隊で奉仕しています。
私たちの夫婦と妹夫婦が共にクンポのクンジョン同の一つの小さい新しマンションを分譲受けて入居しました。いざ入居してみたら銀行の利子を返すのが負担になり神様の助けを求めながら切に祈りました。すると分譲社の書類の不備によって分譲社が２年間代わりに利子を返す奇異なことが起きてその危機を乗り越えることが出来ました。助けてくださった神様の恵みでした。
私と妻が首区域長の職分を受けて熱心に教会で奉仕しながら伝道の生活をする中で会社の職員の頻繁なストライキで廃業を決定しました。その当時は労使紛争で不渡りした会社の職員達はほかの会社で採用を忌避しました。それで、私は再就職をする代わりに商売をすると決心しました。しかし、少ない退職金をもってすることが多くなかったです。二度と試みてみましたが父が運営する事業場が困難が発生して地方に下りてその事業場を担えて運営するとしました。
どころがこの事も容易ではなかったです。父と一緒に住む方の紹介で買収する資金を貸してあげると言う人に出会ったが、調べてみると占い師でした。どころが、その占い師が私に出会うとすぐ急変して貸してあげないとしました。父と一緒に住む方も偶像崇拝をする方でした。事業場を買収するためには保証金を調達しなければならないですが、それが難しくなりました。神様が防いだと思いました。こんなことがあって私たちの夫婦が神様の助けを求めながら切に祈っているときに以前からよく知っていなかった家の大人が私の事情を聞いて喜んで保証してくださいました。むしろ安い利子で銀行融資を受けることになりました。災いが転じて福になりました。
事業場を運営しながら建物の主人の評判を聞いて心配になりました。頑固であまりにもケチなのでその建物に入居してお金を稼ぐのが難しいと話をする人が多かったからです。運営する事業場の特性のことで ２年に一回ずつは大々的に機関室の修理などをしなければならないが、その費用が１年間の賃貸料のくらいの大金でした。ところが、その頑固でケチだと評判がわるい主人が初めから私たちの事業場を運営する１０年間自分の費用をかけて無償で修理をしてくれました。私たちが熱心に信仰生活をして誠実に仕事をすると神様が主人の心に感動を与えたのです。10年ぶりに事業場を整理して忠清南道のソサンで３階の建物を買収しました。妻が夢で見たのがまるで現実になりました。ハレルヤ！ソサンで引っ越しをしてアンジュン聖殿 を仕えながら聖徒と共にソサン聖殿 の建築のため祈って献身しました。美しい教会が建てられました。私は車で聖徒達を教会に行き来するのを手伝って聖歌隊員で奉仕しながらもっと喜びと感謝で教会を仕え主の事をしました。神様はワンルームマンションまで購入するように福を与えてくださいました。
ワンルームマンションを購入してまもなく妻が脳梗塞で病院に一か月間、入院して治療を受けました。私たちの夫婦は妻の健康の回復のため昼も夜も神様に祈りながら、妻が再び歩けるならばもっぱら主だけを賛美して忠誠を尽くそうと思いました。私と聖徒の祈りを聞いて神様が妻の病気を癒してくださいました。妻は正常に回復され今は歩いて神様を賛美して販売も上手にしています。聖歌隊と料理する部で奉仕した妻に女性奉仕連合会の重い責任を任せられました。神様は妻の健康を回復させて下さり、もっと教会を愛し教会のため献身するように機会を与えてくださいました。神様！感謝します。
“わたしが、あなたの神、主。あなたをエジプトの地から導き上った神。口を広く開けよ、わたしはそれを満たそう。”
　アーメン

［信仰コラム］

神様を愛する者が話す言葉

＂神は，神を愛する者たち，すなわち，ご計画に従って召された者たちと共に働いて，万事を 益となるようにして下さることを，わたしたちは知っている。＂（ローマ人への手紙 8:28）

本分の御言葉は自分がすることが思い通りにいかない時や苦難が持続する時にも挫折しないように私達の心に慰めと望みを持つようにする神様の言約です。旧約聖書の創世記に生涯の記録が最も多い分量を占める偉人はアブラハムです。そしてここに比べることができる程の分量を占める人物はヨセフです。この二人の族長の生涯は＂神は，神を愛する者たち，すなわち，ご計画に従って召された者たちと共に働いて，万事を益となるようにして下さることを，わたしたちは知っている。＂ということをとても劇的に証明しています。
アブラハムとヨセフが経験した事事を調べてみます。
神様のお呼びを受けて神様の命令に従って神様が指示なさる所に移住したアブラハムはカナンの地に定着した後に財産がますます豊かになって六蓄と金銀が豊富になりました。甥のロットも家畜が多くなりました。すると彼らが居住する地が二人で共にするには狭くなって互いに離れて生活することにしました。ロットはソドム城があるヨルダンの野原に移っていき、アブラハムはヘブロンに行きました。ロットは信仰生活に有利な所より事業するに有利な所を選択したので結局はソドム城に入って生活しました。このような選択がロットを危機に処するようにしました。ケドルラオメル王が連合軍を編成してソドムを始め南側の五つの国を侵攻してソドムとゴモラの全ての財物を奪取して、そこに住んでいる人々を捕虜として捕まえました。この消息を聞いたアブラハムは家で養った 318 人の訓練された男達を連れて近隣の人々の協力を得て追撃戦を行い連合軍を撃破し、全ての財物を取り戻しロットと彼の家族達と捕虜として連れて行かれていた人々を救出しました。アブラハムは戦利品を自分が取らずに返してあげました。このことによってアブラハムはその地域社会でたくさんの尊敬と信頼を受けるようになりました。この事件は万事が益となるようにしてくださる神様の摂理と恵みについてアブラハムが体験したたくさんの事例の中で一つです。
万事が益となるようにしてくださる神様の摂理の手を劇的に経験した人の中でヨセフを排することができません。
ヨセフは父親のヤコブの寵愛を独り占めして、自分が兄達より高い地位にいる夢を二回も見てこれを口に出したことで兄達の憎しみを買いました。兄達は父親のお使いで彼らが羊を飼う所に訪れたヨセフをエジプトに行く大商に売り渡しました。その後、ヨセフはエジプト王ファラオの警護隊長ポテパルの僕になり、誣いられて悔しい濡れ衣を着せられて重罪人を閉じ込める監獄に監禁される等の紆余曲折の末、エジプトの総理の座につきました。ヨセフは神様が与えてくださった夢の解釈通りに 7 年の豊年の間に糧を数多く貯蔵し、7 年の凶年が始まるとその糧を放出しました。父親の指示でエジプトに糧を買いに来た兄達はエジプトの総理が彼らが売り渡したヨセフであることを分かりました。
歳月が流れて父親のヤコブが死ぬと兄達は自分達が過去にヨセフに犯した罪によって報復を受けるのではないか心配しました。そのような彼らにヨセフは＂あなたがたはわたしに対して悪をたくらんだが，神はそれを良きに変らせて，今日のように多くの民の命を救おうと計らわれました。それゆえ恐れることはいりません。わたしはあなたがたとあなたがたの子供たちを養いましょう。＂としました。ヨセフが様々な難しい事事に遭っても平常心を持って克服していった理由を明らかにしたのです。ヨセフが話したことは＂神は，神を愛する者たち，すなわち，ご計画に従って召された者たちと共に働いて，万事を 益となるようにして下さることを，わたしたちは知っている。＂と一脈相通ずります。
＂神様が万事が益となるようにしてくださる。＂ということを確実に知る聖徒は全てのことを感謝で神様に告げて任せます。常に信仰で話します。待ちながら賛美します。皆さんは＂神は，神を愛する者たち，すなわち，ご計画に従って召された者たちと共に働いて，万事を 益となるようにして下さることを，わたしたちは知っている。＂と話す人々の中で一人であるように祝福します。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

主をほめよそのすべてのめぐみを心にとめよ

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

「わがたましいよ，主をほめよ．わがうちなるすべてのものよ，その 聖なるみ名をほめよ わがたましいよ， 主をほめよ． そのすべてのめぐみを 心にとめよ． 主はあなたのすべての 不義をゆるし， あなたのすべての 病をいやし，あなたのいのちを 墓からあがないいだし， いつくしみと， あわれみとをあなたにこうむらせ， あなたの 生きながらえるかぎり， 良き 物をもってあなたを 飽き 足らせられる．こうしてあなたは 若返って，わしのように 新たになる」（詩篇 103：1～5）この言葉を調べことで恵みを分かち合います

「ほめ」とは、神様に栄光を帰し賛美することを意味します。**「この 民は，わが 誉を 述べさせるために わたしが 自分のために 造ったものである」**と イザヤ書 43 章 21 節に記録されました。神への賛美は、神の民に与えられた本分であり、特権です**「わたしは，有って有る 者 」また 言われた，「イスラエル の人びとにこう 言いなさい， 『わたしは 有る 」というかたが， わたしをあなたがたのところへつかわされました 』 （出エジプト記 3:14）**ですから、万物は神の被造物です

「わがたましいよ，主をほめよ．わがうちなるすべてのものよ，その 聖なるみ名をほめよ」しました。口だけで歌う賛美ではなく、知性、感情、意志を尽くし賛美という意味です。**申命記 6 章 5 節に「あなたは 心をつくし， 精神をつくし， 力をつくして， あなたの 神，主を 愛さなければならない」**しました。心と性格と力を尽くし賛美します」**「私の魂よ、主をほめよ、そのすべてのめぐみを 心にとめよ」**としながら、その恵みを六つに記載しました

第一は、「主はあなたのすべての 不義をゆるし」 しました。

「**主はあなたのすべての 不義をゆるし**」というのが、神の恵みの中で一番最初に挙げられるでしょう。すべての人は神に対して罪人です。罪人は、神の審判を受けて地獄の刑罰を処することになります。

これらの罪を解決する方法が人にはありません。神が罪人を哀れんで救いの道を与えています。その道はイエス・キリストを自分の救い主として信じて受け入れることです。イエス・キリストが私たちのすべての罪を担当して贖いされたからです。イエス・キリストによるの罪の赦し恵みを受けた人は、どのような境遇にあっても、その人生の最後には、永遠の栄光と天国です。「私は、キリスト・イエスのゆえに、罪の赦しの恵みを受けました」と言うことができる人は必ず幸せな人です。このような人は、主をほめすることが妥当です

第二は、「あなたのすべての病を癒し」としました。

人はこの世に生まれる瞬間から一生を絶えず病気と戦いながら生きていきます。病気の種類がどのくらいか知っている人はいません。今の生きている人は、生きているという事実自体が無数の病気を治癒を受け取ったことを証明しています。

病気治癒には 3 つの道があります。自然治癒と医術による治療および癒しです。新約聖書の福音書と使徒行傳は、癒しの事件が無数に記録されています。信仰と祈りによって治癒することは、主が教会に与えられた恵みであり、使命です。自然治癒と医薬品と医術による治癒も、実際には、神の恵みです。神が人の体に免疫力をくださって、医薬と医術を開発することができる材料と知恵を与えている

神様が与えられるこれらの癒しの恵みがあるにもかかわらず、人は病気から完全に自由ではありません。また、人は最終的には先につもり後にこの世を離れ出されることが避けられない運命です。しかし、クリスチャンは老いと死を嘆いていません。再び病気の脅威や攻撃を受けることがない神の恵みがあるからです。それは永遠の命に入ると復活することになるのです

第三には、「あなたのいのちを 墓からあがないいだし」しました。

墓から**あがない**しているということは、非常に危険な状態に置かれたことを意味します。皆さんの中には、今まで過ごしてきた日々を回顧すると、命を失うことになる危機を免れた事件を覚えている方があるでしょう。年がとった方ほどの生命を台無しにあがないくださった神様の恵みに対して行う話が多いでしょう。破滅は滅亡または地獄に翻訳することができます。皆さんの中、イエス・キリストを信じる前に死んでいたと命が破滅したものです。ところが、死なずに、イエス様を信じるようになったので、このような方は、すべての命を破滅からあがないくださった神様の恵みを受けた方です

第四は、「いつくしみと， あわれみとをあなたにこうむらせ」しました。

私たちは、柔らかく、不足しても、神が私たちにいつくしみとあわれみをくださって誤った道に落ちないように導いてくださいます。私たちは、神のいつくしみとあわれみを頼って恵みの御座の前に大胆に出たときに助ける恵みを入手することができます。ヘブル人への手紙に記録されることを**「この 大祭司は， わたしたちの 弱さを 思いやることのできないようなかたではない． 罪は 犯されなかったが， すべてのことについて， わたしたちと 同じように 試錬に 會われたのである． だから， わたしたちは， あわれみを 受け， また， 惠みにあずかって 時機を 得た 助けを 受けるために， はばかることなく 惠みの 御座に近づこうではないか。」（ヘブル人への手紙 4：15,16）**しました。あなたは神のいつくしみとあわれみを着る恵みを多めに享受してください

第五に、「良き 物をもってあなたを飽き 足らせられる」しました。

神様が与えられる良いものの中に聖霊の賜物と実があります。コリント人への第一の手紙 12 章に記録されることを**「すなわち， ある 人には 御霊によって 知惠の 言葉が 與えられ，ほかの 人には， 同じ 御霊によって 知識の言， またほかの 人には， 同じ 御霊によって 信仰， またほかの 人には， 一つの 御霊によっていやしの 賜物， またほかの 人には 力あるわざ， またほかの 人には 預言， またほかの 人には 霊を 見わける 力， またほかの 人には 各種の 異言， またほかの 人には 異言を 解く 力が， 與えられている． すべてこれらのものは， 一つの 同じ 御霊のきであって， 御霊は 思いのままに， それらを 各自に 分け 與えられるのである」（コリント人への第一の手紙 12：8~11）**しました。

ガラテヤ人への手紙 5 章では、**「しかし， 御霊の 実は， 愛， 喜び， 平和， 寛容， 慈愛， 善意， 忠實， 柔和， 自制であって， これらを 否定する 律法はない． 」（ガラテヤ人への手紙 5：22,23）**しました

また、父なる神は、私たちの祈りに良いもので答えてくださいます。イエスご自身が言われた**「あなたがたのうちで， 自分の 子が パンを 求めるのに， 石を 与える 者があろうか．魚を 求めるのに， へびを 與える 者があろうか．このように， あなたがたは 悪い 者であっても， 自分の 子供には， 良い 贈り 物をすることを 知っているとすれば， 天にいますあなたがたの 父はなおさら， 求めてくる 者に 良いものを 下さらないことがあろうか」（マタイによる福音書 7：9~11）**しました

また、父なる神は、神を愛し、その意のままに召さた人々に、すべてが合わせて良い結果につながっていただきます。私たちは、この世だけを見て判断すると、

「あなたの 生きながらえるかぎり， 良き 物をもってあなたを 飽き 足らせられる」と言うのをためらうことができます。しかし、天国に行くと、「なるほど、神の良いもので私の願いを満足させていただきました」と感心して感激することになるでしょう。信仰的に考えて、信仰で眺める訓練された信徒は将来言うことになることを今、あらかじめ伝えることができます

第六に、「こうしてあなたは 若返って，わしのように 新たになる」しました。

わしは、毎年新しい羽に着替えゆえに毎年若いわしの翼を持って飛ぶことができます。くちばしも新しいくちばしで変わるわしもあります。**コリント人への第二の手紙 4 章 16 節に「だから，わたしたちは 落胆しない． たといわたしたちの 外なる 人は 滅びても， 內なる 人は 日ごとに 新しくされていく」**としました。聖徒の皆さんは、内なる人が経験する新しさが皆さんの心と体に影響を与えるようにしてください。**イザヤ書 40 章 31 節に「しかし 主を待ち 望む 者は 新たなる 力を 得， わしのように 翼をはって， のぼることができる．走っても 疲れることなく， 歩いても 弱ることはない」**しました。常に神を待ち望むしてください。そして、神の恵みに新しい力を供給を受けて青春のように、いつも活気に満ちた心で生きて行ってください

そして、**「そのすべてのめぐみを 心にとめよ」**としました。あなたが受けた神の恵みを無視することがないはずです。イスラエルの民が歴史上経験したすべての苦難は神の恵みを忘れてしまった結果でした。コリント人への第一の手紙 10 章に記録されることを**「また，ある 者たちがつぶやいたように， つぶやいてはならない．つぶやいた 者は， 「死の 使 」に 滅ぼされた．これらの 事が 彼らに 起ったのは， 他に 對する 警告としてであって， それが 書かれたのは， 世の 終りに 臨んでいるわたしたちに 対する 訓戒のためである」（コリント人への第一の手紙 10：10,11）**しました。出エジプトの過程と荒野を進行しながら、彼らが体験した神の恵みは、すべて数えるのができません。それでも不平と恨みが止まらなかった。そうなった理由は、彼らが神の恵みを迅速に忘却したためです。神の恵みを忘れないように、私たちは努力しなければなりません。重ね覚えて口で告白して賛美すれば忘れません

聖徒の皆さんは、日増しに神の恵みを体験する分量が多くなり、覚っている深さが加えられ、これを覚えるので一生を主をほめ生活を継続するのを願います。